

# PANEL56

## 公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部

○支部長あいさつ

○支部役員・各委員会メンバーリスト

○令和7年度事業報告（研修委員会・青年委員会）



支部長挨拶

公益社団法人兵庫県建築士会神戸支部  
支部長 佐々木 博司

日頃より公益社団法人兵庫県建築士会神戸支部の活動に対して、ご支援・ご協力を賜わ  
りまして感謝いたしております。支部長に就任いたしましたから、これまで様々な経験を  
させてもらっています。それでも、支部長として活動してくいなかで、何も出来ていない  
と感じつつ、精一杯めまぐるしい日々を送っている状況です。

令和7年4月13日から184日の期間で、人工島「夢洲」で大阪・関西万博が開催さ  
れ、大いに賑わいました。以前の大阪万博から55年ぶりで、「いのち輝く、未来社会のデ  
ザイン」をテーマとして、150の国と25の国際機関をはじめ企業やNGO/NPO市民団体  
等の取り組みを持ちより、SDGsの達成とその先の未来を描き出したものとなっていまし  
た。私たちにとって、前回の万博同様、今回も様々なデザインのパビリオン、最先端の技  
術展示、世界各国の文化に触れることが出来た一大イベントでした。開催当初は、それ程  
でもありませんでしたが、会期末には会場に人が溢れんばかりの人気となっていました。  
万博キャラクターのミャクミャクも同様に、どんどん人気が出てきて、今のなお人気者と  
なっています。これに合わせて、令和7年9月19日に建築士会でも全国大会が大阪で開催  
され、全国から集まった方々とも情報交換・交流が出来ました。

今現在、世界各地で起こっている問題に関連して、日本の社会経済にも少なからず影響  
が出てきていて、今後の建築業界も先行きが不安視されるどころです。建築士としても、  
今後いろんな問題にぶつかることと思いますが、ひとつひとつ目の前にある問題を解決し  
ていくしかありません。神戸支部でも、同じように問題点を少しずつ何とかしていくため  
に、理事会メンバーと共に、努力を積み重ねていきたいと思っています。

最後になりますが、公益社団法人兵庫県建築士会神戸支部では、いままでの支部活動は  
もとより、様々な事業活動を通して、建築士の資質の向上に寄与すべく努力をしていきま  
す。今後も神戸支部の活動を見守って頂き、今まで以上に皆様のご理解、ご協力をお願い  
申し上げます。

(2026.4.25)

## 令和7、8年度役員

### 1. 神戸支部 支部長 (1名)

ささき ひろし  
佐々木 博司

### 2. 神戸支部 副支部長 (4名)

あらかわ なおき  
荒川 直樹

こき かずと  
湖亀 一登

のぐち なおと  
野口 直人

まきもと みつのぶ  
槇本 光展

### 3. 神戸支部 理事 (7名)

うえの かずひこ  
上野 和彦

こうらい けんじ  
高麗 憲志

ささき やすゆき  
佐々木 康行

しばさき やすこ  
芝崎 康子

たかはし としろう  
高橋 利郎

てらだ みさと  
寺田 みさと

まえだ さえ  
前田 さえ

### 4. 神戸支部 監事 (2名)

あかざわ しょうご  
赤澤 祥語

まえかわ しょうじろう  
前川 象二郎

### 5. 神戸支部 顧問 (2名)

えびす たかし  
戎 孝之

たなか よしゆき  
田中 義之

## 令和8年度各委員会メンバー

### 研修委員会

担当副支部長 槇本 光展  
委員長 佐々木 博司  
副委員長 石田 敦、芝崎 康子  
委員 佐々木 康行、瀬戸口 茂、中居 博喜、  
前田 さえ、毛利 康人、安水 正、山下 享子

### 青年委員会

担当副支部長 荒川 直樹、野口直人  
委員長 上野 和彦  
副委員長 神鳥 嵩之、高橋 利郎  
委員 川田 靖、寺澤 梓  
相談役 寺田 みさと  
顧問 高麗 憲志

## 令和7年度神戸支部通常総会

副支部長（総務担当） 湖亀 一登

開催日時：令和7年4月26日（土）13：30～

開催場所：神戸市産業振興センター901号室

参加人数：通常総会 23名<前年22名>

懇親会 27名（内1名は講師秋吉氏、懇親会費免除） <前年26名>

報告：今年度は総会、懇親会とも前年から若干人数が増えました。

しかしながら、会員数の減少に歯止めがかからない現状では会場、懇親会場ともに場所の選定から見直す時期に来ているとも感じています。



佐々木 支部長あいさつ



総会風景

## 神戸市 新垂水図書館 見学会

主催：(公社)兵庫県建築士会 神戸支部 研修委員会

- 目的内容： 島田 陽氏設計の神戸市 新垂水図書館を、神戸市職員に案内・説明してもらいながら見学することで、最近の公共建築について学ぶことが出来ました。
- 実施日時： 令和7年7月28日(金)
- 時 間： 13:50~15:10
- 参加資格： 建築士会会員・非会員
- 参加者： 15名(会員11名、会員外4名)
- 参加費用： 会員：500円、非会員500円

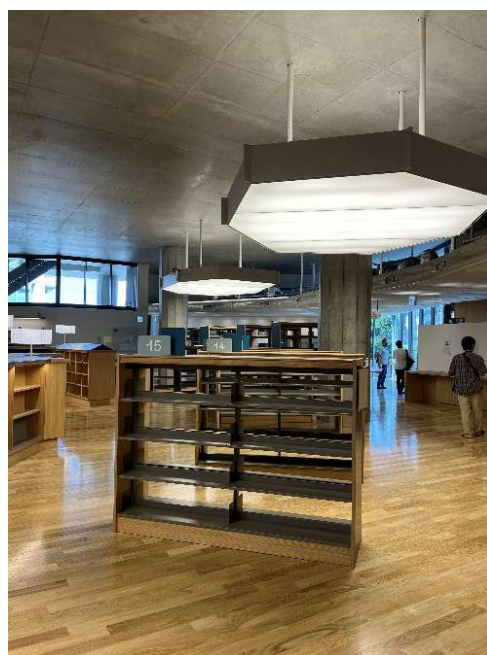
見学会当日は、2025年7月末暑い日でした。新垂水図書館新築工事を終えて建物内部の什器書棚には、これから書籍搬入の準備をしている状態でした。できたての建物内部と外観を自由にそれぞれで見学ツアーしました。内装は天井、壁、柱型をコンクリート打ち放し仕上げとなっていてシンプルなデザインと天井スラブからの吊り下がった七角形の照明器具が優しく下面を照らしていました。

以前の垂水図書館は、垂水区役所の1階にありました。児童向け書籍とレファレンスコーナーと新聞・雑誌コーナーと一般書籍・専門書籍などが近い距離にあって少しザワザワとした感じでした。

2026年3月に新垂水図書館開館後に、行きました。

1階クルマ利用のロータリー、2階一般書・対面朗読室、3階児童書・学習室・おはなしひろばなど、4階屋上ひろば・たるみなとルームがあります。平日に訪れたこともあって各階がそれなりに静かな空間で、以前の垂水図書館とはちがいそれぞれの居場所がありました。

(文：瀬戸口 茂)



## 令和7年度 「歴史と環境」を学ぶ会

・・・京都・宇治を巡る・・・

主催：公益社団法人兵庫県建築士会 神戸支部 研修委員会

■日 時：令和8年1月30日（土） 8：30～18：10

■内 容：京都・宇治の宇治平等院・興聖寺・宇治神社・宇治上神社・源氏物語ミュージアムを巡り、歴史的な由緒ある寺院・神社の建築・魅力ある空間や宇治における源氏物語を体感し、触れることで、建築に関わる日常業務等のスキルアップに努めることができました。

■場 所：宇治平等院・興聖寺・宇治神社・宇治上神社  
源氏物語ミュージアム

■参加者：会員 16名、非会員 2名 合計 18名

■参加費：会員 6,000円、非会員 8,000円

今年度の「歴史と環境」を学ぶ会は、京都・宇治の宇治平等院・興聖寺・宇治神社・宇治上神社の建築・空間や宇治における源氏物語に関わる場所・源氏物語ミュージアムを巡ることが出来ました。

最初に宇治平等院を訪れ、ボランティアによる楽しい説明を受け、平等院のミュージアムである鳳翔館を見学した後、鳳凰堂内部にも入ることが出来ました。



鳳翔館では、本物の梵鐘・一对の鳳凰・雲中供養菩薩像等を真近で見学でき、最新のデジタル技術で再現された鳳凰堂内部の様子などを体験しました。鳳凰堂内部では、実際の空間で現状がどうなっているのかを体験でき、ミュージアムでの創建時の展示空間との違いを改めて感じました。



その後、昼食を頂いてから、興聖寺を訪問しました。こちらでもボランティアの説明で、曹洞宗禅寺寺院の伽藍をじっくりと見て回り、建築・庭・仏像についていろんなことを学ぶことが出来ました。





次に、宇治神社・宇治上神社を訪問し、このふたつの神社は元々二社一体の存在だったのですが、明治になってから分離することになったそうです。宇治上神社の本殿は、神社建築としては現存最古とされ、流造の覆屋の中に一間社流造の内殿3棟が並ぶ珍しい構造となっています。



そして最後に、移動途中に源氏物語ゆかりの場所を巡りながら、源氏物語ミュージアムを訪問し、宇治と源氏物語との関係性を感じ、展示により源氏物語を学ぶことが出来ました。

各所見学後、宇治平等院の参道にて、宇治みやげを選びながら散策して、帰路に着きました。

今後も、このようなすばらしい体験ができ、参加者に喜んで頂ける事業になるように努力していきたいと思っております。(文：佐々木)



## 令和7年度 法規講習会

(公社) 兵庫県建築士会神戸支部研修委員会

(一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部研修部 共催

- **開催日時** : 令和8年2月10日(火) 13:30~16:00
- **開催場所** : 神戸市教育会館501号(中央区中山手通4丁目10番5号)
- **参加者** : 47名(会員45名、会員外2名)
- **受講料** : 建築士会会員・事務所協会会員は3000円、会員外4000円

司会 : (公社) 兵庫県建築士会神戸支部 佐々木 康行氏

開会挨拶 : (公社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部副支部長 山田 亨氏

### ■ 講演内容 :

- ① 接道許可と包括同意基準 - 神戸市の住宅供給の方向性に関連して -  
講師 : 神戸市建築住宅局建築指導部建築安全課整備係長 島田 臣也様
- ② 本市の改正建築物省エネ法に関連した最近の動向  
講師 : 神戸市建築住宅局建築指導部建築安全課 係長 吉川 正隆様
- ③ 建築物に係る防火・避難関係規制の見直し等について(令和7年11月1日施行)  
講師 : 神戸市建築住宅局建築指導部建築安全課建築安全係長 高橋 宏治様
- ④ 神戸市火災予防条例第49条第2項「二方向避難」の改正等について  
講師 : 神戸市消防局予防部査察課設備指導第1係 消防司令補 鈴木 雄志様


閉会挨拶 : (一社) 兵庫県建築士会神戸支部支部長 佐々木 博司氏



## 事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他	作成日	令和7年6月30日			
事業名称	公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 特別講演会					
開催日時	令和7年4月26日(土) 14:30～16:30	開催場所	神戸市産業振興センター			
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんいんかい					
活動団体名	<b>(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会</b>					
事業の目的	<p>広く参加者を募ることにより、建築士会の活動を多くの方へ知っていただく場としたい。                  講師については、若手建築家でデジタルアプリケーションを用いて、設計から施工まで行う設計集団VUILDの秋吉浩気氏を招き、最新のデジタルテクノロジーと建築とのつながりを伺うとともに、幅広い年齢層の集客を図り、会員拡大及び活動参加拡大の広報活動の場としたい。また、活躍されている若手講師の講演を聞くことにより、個々の意識向上につなげる事を目的とする。</p>					
主な事業内容	<p><b>テーマ;『ビルドデザイン-つくりかたの設計』</b>  <b>講 師;秋吉浩気氏</b>                  1988年 大阪府生まれ                  2013年 芝浦工業大学工学部建築学科卒業                  2015年 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科政策・メディア専攻X-design領域修了                  2017年 VUILD株式会社を創業</p>					
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	学生	合計
	人数	4	30	13	0	47
建築士の関り	建築士として著名な建築家の選出から始まり、事務所へのオファー、回答を得られるまでの過程を通じ、他の事務所の対応や建築家との関わり方等、日々行う業務に於いても、学ぶべき要素が多い機会と考え、この事業に関わっていききたい。					
今後の検討課題	今回はオンライン配信をとりやめ、会場のみでの実施としたが、オンライン配信を補う形で後日録画配信を行うこととした。ただ、動画の配信方法(録画データの編集含む)について検討の必要がある。 また、今回講演会前に青年委員会のPRを行って、パンフを配布したが、これら広報活動についても検討が必要がある。					
連携・協力組織等	VUILD株式会社					
<p><b>当日の様子</b></p> <p>秋吉氏は、自身を“現代の棟梁”を意味する「メタアーキテクト」と位置づけ、建築設計にとどまらず、材料の流通や生産システムの構築にまで関与するなど、従来の建築家像とは一線を画す活動を展開されており、そうした独自の視点から「つくりかたの設計」についてご紹介いただきました。</p> <p>質疑応答では、「今後、建築士の職能が不要になるのではないか」との問いに対し、秋吉氏は「社会システムが整備され、個人でも高品質なものづくりが可能になったとしても、それらを統合し、地域特性に応じた最適な形に導く役割は依然として必要であり、それこそが建築士の専門性である」と回答され、我々の職能についても改めて深く顧みる機会となりました。</p> <p>今回は青年委員会への新規参加促進を目的とし、講演会の冒頭に活動紹介を行うとともに、パンフレットを作成・配布するなど、広報活動も実施いたしました。</p>						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						
事業担当(計画)者	高麗憲志・神鳥嵩之(青年委員会)	事業責任者	上野和彦(青年委員会・委員長)			
事業担当者連絡先		神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階			
事業担当者E-mail		青年委員会URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>			


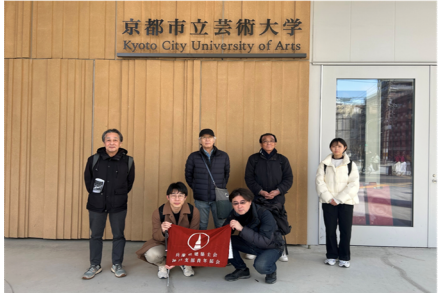
## 事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他	作成日	令和7年8月2日			
事業名称	親子セミナー「まなぼ！つくろ！わりばしとわごむで”夢の家”」					
開催日時	令和7年8月2日(土)13:30～16:30	開催場所	すまいるネットセミナールーム			
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんいんかい					
活動団体名	<b>(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会</b>					
事業の目的	小学生親子を対象とした市民向け建築スクールの一環として、ものづくりの楽しさに触れるきっかけとなることを目的に行う。「神戸市住まいの安心支援センター」の委託継続事業。					
主な事業内容	第一部では日本や世界の夢のある建物のスライド講義を通じて、住まい(家)の多様な形態について学びます。第二部では、割りばしと輪ゴムを使って子供たちが思い描く「夢の家」の工作に挑戦。最後に子供一人ひとりに夢の家建築士認定証を発行します。					
参加者	内訳 人数	青年会員 -	一般会員 -	会員外 -	小学生 12	合計 12
建築士の関り	親子が一緒になってモノづくり体験で、夢の仮想の姿を現実の形として造形し、創造すること、モノを造ることの楽しさを育み体感して頂くことが出来ればと考えている。					
今後の検討課題	参加者数について、昨年の8名と比較すると今年は若干増えましたが、2年前は21名(抽選)、3年前は14名であることを考えると、近年は参加者数が少ない傾向にありますので、参加者数をどう延ばすかが検討課題です。					
連携・協力組織等	一財)神戸住環境整備公社(すまいるネット)					
<p>当日の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>応募人数は、7/18の締切以降、キャンセルや追加の申込があり、最終的には11組、12名の参加となりました。今年は、低学年が多く、オーソドックスな形状の作品多かった印象です。</li> </ul>						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						
事業担当(計画)者	寺田 みさと(青年委員会)	事業責任者	上野 和彦(青年委員会・委員長)			
事業担当者連絡先		神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階			
事業担当者E-mail		青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>			

## 事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他	作成日	令和7年10月24日			
事業名称	公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 全国大会(大阪)参加助成事業					
開催日時	令和6年9月19日(金)	開催場所	グランキューブ大阪			
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんいんかい					
活動団体名	<b>(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会</b>					
事業の目的	昨年に引き続き、全国大会(大阪大会)への参加を通して、県青・近建青との交流も含め、全国の青年委員会がどのような活動をしているのか、直接その熱量を感じ視野を広げるとともに、得たものを支部へ持ち帰り、より強い一体感の醸成を目的とする。					
主な事業内容	(大会前日)9/18(木)建築士フォーラム(青年事業)(自由) (大会当日)9/19(金)AM.青年委員会セッション(必須) PM.記念フォーラム・大会式典、大交流会(必須) (エクスカッション)9/20(土)(自由) 大会当日の上記事業への参加を必須事項として、可能な限り支部青年での集団行動とする。 自宅から現地まで往復の移動手段、ホテル等の手配は各自で行う。					
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	学生	合計
	人数	3	0	0	0	3
建築士の関り	全国の各単位士会の青年メンバーをはじめ、様々な方々と交流し、それぞれの事業や活動内容について知見を得る					
今後の検討課題	事前の職場等でのスケジュールの調整や体調管理等が課題として挙げられる。					
連携・協力組織等						
<p>当日の様子</p> <p>昨年の鹿児島大会に続き、本年の大阪大会にも計画、実施させていただきました。大阪関西万博の会期中ということもあり、参加者は非常に多く盛り上がった大会になっていたと思います。大会前日の建築士フォーラムには参加できませんでしたが、大会当日の午前中の青年セッションでは、全国の青年部会・委員会の取り組みの発表会に参加し、多くの学びを得ることができました。午後には式典、夜は大交流会に参加し、会長、副会長をはじめ、他支部の方々と交流するとともに、他府県のメンバーとも交流で、非常に有意義な時間を過ごすことができました。</p>						
						
或実践発表会の様子		念式典の様子		交流会の様子		
事業担当(計画)者	高麗憲志(青年委員会)	事業責任者	上野和彦(青年委員会・委員長)			
事業担当者連絡先		神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階			
事業担当者E-mail		青年委員会URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>			

## 事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他		作成日	令和8年3月12日		
事業名称	第32回 建築セミナー 藤原徹平氏の建築視察					
開催日時	令和8年3月7日(土) 10:20~16:20		開催場所	大阪府泉大津市、京都府京都市		
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんいんかい					
活動団体名	(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会					
事業の目的	来る 令和8年4月25日に開催予定の藤原徹平氏による特別講演会「場所の未来をひらく」に先立ち、同氏の設計による大阪の泉大津市立図書館「シーブラ」と、京都の「京都市立芸術大学」の見学会を開催します。特別講演会の内容の理解の一助とすることも目的としています。これらの見学を通じ、建築士としての意識向上、会員交流を図ります。					
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉大津市立図書館シーブラ見学(館長による案内あり)</li> <li>地下2階、地上7階(改修範囲:4階 3,510㎡)</li> <li>2021年5月竣工</li> <li>・京都市立芸術大学見学</li> <li>C地区:地上7階地下1階 46532.59㎡</li> <li>B地区:地上5階 9478.11㎡</li> <li>A地区:地上4階 18285.46㎡、2023年8月竣工</li> </ul>					
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	学生	合計
	人数	3	3	1	0	7
建築士の関り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の立案、見学先の選定やルート等の調整、ご案内いただく方との日程や内容の調整</li> <li>・チラシの作成やSNS、HP等への掲載などの広報活動</li> <li>・インターネットを活用した申込方法の検討</li> </ul>					
今後の検討課題	今回は日程の決定やチラシの作成、事業の周知が遅くなってしまったため、想定より参加者が集まりませんでした。今後はもう少し余裕をもったスケジュールとすることが課題です。					
連携・協力組織等	泉大津市立図書館シーブラ 館長 川瀬氏					
<p>当日の様子</p> <p>当日は大阪の泉大津市に集合、午後は京都市という長距離移動になりましたが、スケジュールとしては余裕があったので、天気も悪くなかったこともあって、スムーズに進行できました。</p> <p>午前中の南海泉大津市駅の向かい側にある泉大津私立図書館シーブラに伺い、館長の川瀬氏にご案内いただきました。3年ほど前はダイソーが入っていた4階のワンフロアを図書館に改修していること、また、予算が非常にタイトであったことから、様々な苦労、工夫をしていることがよく理解できました。また、来館者も非常に多く、館内もきれいに利用、管理されており、運営側もうまく管理、運営していることがよくわかりました。</p> <p>泉大津駅近くで昼食をとり、午後は京都市へ。 JR京都駅から東へ徒歩10分程度で京都市立大学に到着し、配布資料をもとに自由見学。キャンパスの一部は市民にも開放されているようで、子供たちを対象に音楽教室も開かれているようでした。通りや中庭が複雑ですが、適切にとられていて、規模の大きなボリュームにうまく採光、通風を確保する工夫が印象的でした。</p> <p>予定通りに見学を終了し、現地解散となりました。</p>						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						
事業担当(計画)者	川田靖、高麗憲志(青年委員会)		事業責任者	上野和彦(青年委員会・委員長)		
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階		
事業担当者E-mail			青年委員会URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>		

## 令和7年度 全国大会（大阪）参加助成事業報告

（公社）兵庫県建築士会神戸支部青年委員会

高麗憲志

日程：2024年9月18（木）～20（土）

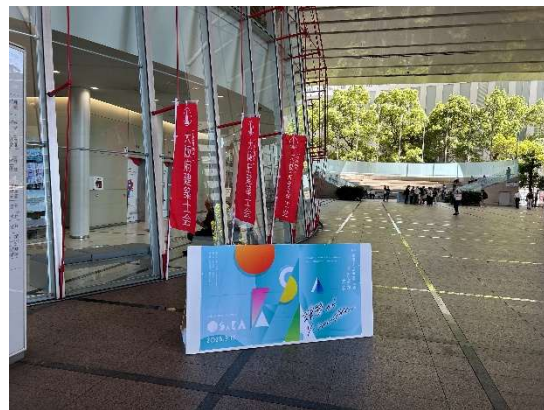
場所：グランキューブ大阪（大阪府大阪市）

昨年に引き続き、会員増強を目的とし、青年委員会を対象として、全国大会（大阪大会）への参加費及び大交流会費の補助をしていただき、上野委員長、神鳥委員、私の3名が助成をうけ、参加させていただきました。

昨年まで近畿建築士会協議会青年部会（以下近建青）に兵庫県から出向させていただいておりましたが、昨年度で近建青を卒業したため、久しぶりに当時の近建青のメンバーに会えるのを楽しみにしていた機会でもあります。

全国大会は例年兵庫以外もしくは近畿以外の地域へ行って、まだ実際に見たことのないまちや建築を見に行くというある意味、きっかけとしての機会だったのですが、今回は大阪ということで普段から行きなれている都市ということもあり、少し例年とは違う大会となりました。

今年も大会前日に実施されている恒例の建築士会連合会青年部会による建築士フォーラム（大阪のまち歩き）やその後の懇親会には残念ながら仕事の都合で参加できなかったため、大会当日からの参加となりました。



午前中は青年セッションの地域実践活動発表会に参加しました。近建青からは奈良県建築士会の「FUN 木 FES CAMP festival 2024」が代表として選出され、発表していました。奈良県の取り組みとしては恒例のイベントで、例年多くの参加者があり、素晴らしい取り組みでしたので、今回は期待して一票を投じました。残念ながら、最優秀賞ではありませんでしたが、奨励賞を受賞しました。



一方で最優秀賞を受賞した中四国ブロック代表の香川県建築士会の取り組み「れきみんプロジェクト」は地域に親しまれてきた博物館を取り壊しから守り、活用を促す取り組みを行うことで、地域の資産としての価値を高める重要なプロジェクトでした。建築士だからこそできた取り組みとして重要に感じました。

午後は講演会と式典に出席し、そのあとの大交流会に参加しました。大交流会は非常に多くの人に参加し、ホテルの会場はまさにすし詰め状態でした。

大交流会は近建青の旧メンバーと再会し旧交を温める機会であると同時に、他府県からの知らないメンバーと知り合う貴重な機会だと感じています。



本助成は今年で2回目ですが、普段から神戸支部もしくは兵庫県内にしかつながない若手にとっては、全国大会へ行くハードルが下がり、全国の建築士会の取り組みやメンバーとのつながりを作っていく大切な機会となり、一定の成果となっておりと感じています。

一方で昨年からの課題ですが、この取り組みを外部に発信し、新規会員の獲得にどうつなげるかを検討する必要があります。引き続き事業を行いたいと思っています。

次回の全国大会は群馬県の高崎市で開催されます。個人的に群馬県は行ったことのない数少ない県ですので、楽しみにしています。





良い実例になったと思います。

### 3. FUN 木 FES CAMP festival 2024

#### 3-1 活動の経緯

本事業は、近畿ブロック建築士会青年委員会の連携を契機として発足しました。山林資源の活用や、間伐・里山保全に対する理解を促進することを目的として位置づけられています。活動においては、親子で参加できる自然体験イベントとして展開



し、楽しみながら森林や木材への関心を高めていくことを目指して実施しています。

#### 3-2 活動内容

本事業では、「未来へつなぐ、木でつなぐ」というテーマのもと、木工体験や森のワークショップ、火起こしや薪づくり、間伐見学、キャンプ体験などが行われました。自然観察や地域食材を活用した飲食提供、参加者同士の交流イベントも組み合わせられ、楽しみながら森林と人、木材と暮らしの結びつきを学ぶ機会の提供をしています。

#### 3-3 成果

活動を通じて、子どもや若年層が森林資源や木材利用に関心を持つようになり、環境教育としての効果が確認されました。地域産業への理解も深まり、里山保全や間伐の重要性について考える契機となりました。参加者や関係団体からの評価も高く、次年度以降の継続開催が決定し、活動が地域に根付く動きが進んでいます。建築とは異なる分野と建築を絡めることで、より多くの方に建築を知って頂ける機会を提供できます。さまざまな分野に繋がっている建築だからこそ、できる活動であると思いました。

### 4. まとめ

2つのプロジェクトはいずれも、「地域資源の再評価」、「子ども・若者への教育普及」、「住民参加と専門家連携」、「建築・建設分野の社会的価値の発信」を共通理念として展開されています。建築士会青年部による活動は、単なるイベントに留まらず、持続可能なまちづくり・文化継承・環境教育を担う重要な社会的役割を果たしていると感じました。

(文：神鳥)

## 第 67 回 建築士会全国大会「おおさか大会」参加報告

兵庫県建築士会神戸支部

報告者 上野

令和 7 年 9 月 19 日、グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)において、第 67 回建築士会全国大会「おおさか大会」が開催され、久しぶりに建築士会関係者が集う会に参加させていただきました。大会テーマは「建築からソーシャルデザインへ」であり、建築士が建物の設計・監理にとどまらず、地域社会や人々の暮らし、まちづくり全体にどのように関わるべきかを考える内容であった。

全国大会は、全国の建築士会関係者が一堂に会し、社会的役割と責任を再確認するとともに、各地域における活動や課題を共有し、相互の連携を深めることを目的として開催されている。今回の大会においては、記念講演や各種セッションが実施され、建築士に求められる役割が、従来の設計・監理業務に加え、防災、地域活性化、歴史的建築物の保存、空き家活用、木材利用、福祉、景観形成など、多様な分野に広がっていることが示されました。

本大会は同時期に、2025 年大阪・関西万博の開催機会に合わせて、建築士の職能を最大限に活かし、社会課題に真摯に向き合い、その解決策を提示・実行する場として本大会を位置づけたといえます。

今回、参加した青年委員会セッション「地域実践活動発表会」では、各ブロックの青年建築士が、それぞれの地域で直面している課題に対し、どのような実践を行っているかを発表していた。どの発表にも共通していたのは、建築士の役割を設計業務だけに限定せず、地域と関わりながら課題解決に取り組もうとする姿勢であった。大会テーマである「建築からソーシャルデザインへ」を具体的に感じられる発表であった。

青年委員会セッション全体を通して感じたのは、若手建築士の活動が非常に実践的であり、地域課題に対して自ら行動し、多くの人を巻き込みながら解決策を探っているということである。そこでは設計技術だけでなく、企画力、発信力、調整力、人と人をつなぐ力が求められていた。建築士の仕事は建物を設計することにとどまらず、地域の未来を支える仕組みや関係性をつくることにも広がっていると強く感じた。

今回の全国大会に参加し、特に青年委員会の発表を通して、建築士が社会の中で果たす役割の大きさを改めて学ぶことができた。地域の課題に目を向け、多様な人々と協力しながら行動する姿は、これからの建築士に求められる姿そのものであると感じ

た。改めて今後も自分自身として、専門知識や技術だけでなく、地域社会との関わりを大切にしながら、建築を通して社会に貢献できるよう努めていきたいと思える充実した一日でした。

